



# 株 桂スチール

中華書局影印

太鼓判細します!!



兵庫県企画県民部  
広報課広報専門員  
高曾根里恵さん

鉄骨で、誰もが知っているような有名建造物を支える桂スチール。優れた技術や製品を有し、国内外で高い評価やシェアを得ているとして平成28年度「ひょうごオンリーワン企業」に認定されました。社内で技能コンテストを開くなど、切磋琢磨で成長し続ける企業です。

この「溶接H形鋼」は、断面がHやTの形状に組立溶接された鉄骨のことで、高層ビルやマンション、橋梁の柱や梁に使用されている。当然、同社では幅広いニーズに合わせて、サイズや厚

「品質の良い製品を効率よく、絶対安全につくる」というモットーを守り続け、大型で特殊な鉄骨「溶接H形鋼」の全国トップシェアを誇る企業に成長した(㈱桂スチール)。その前身は姫路市で1977年開業した鋼材特約店だったが、同社の三木桂吾社長は85年に鋼材加工業に舵を切り、桂スチールを設立したという。三木社長によると、「時代の流れとともに鋼材販売のみの業態に限界を感じるようになり、それまでのノウハウや人脈を生かして溶接H形鋼をみずから製造することにした」という。

み、材質、形状などを縦密に打ち合わせしてから製造する。しかも「材料発注から溶断、溶接、加工、塗装、製品の出荷・搬送に至るまでを一貫して手掛けており、品質と供給に関する万全の管理体制を構築している」という。また「業界全体の鉄骨

A black and white portrait of a middle-aged man with short, dark hair. He is wearing thin-framed glasses and a dark suit jacket over a light-colored shirt and tie. The background is a plain, light-colored wall.

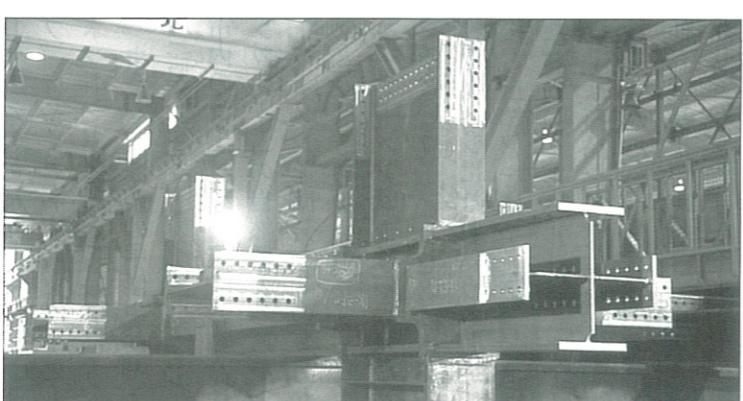
「社員はファミリー」という思いで会社を牽引しているという三木社長

社長の自社採点
企画開発力
営業力
成長力
収益力
地域貢献力
人材力
専門性
リサーチ力
計画性
リスクマネジメント

生産量は年間約520万トンで、そのうち特注品の溶接H形鋼は5<sup>千</sup>未満という二ツチな市場。そのなかで懸命に努力することで、全国シェアの35～40<sup>パ</sup>を占めるまでに成長することができた」と三木社長は話す。

耐震化や老朽イン  
にはリニア中央新  
高い需要が見込まれ  
れるだけに、これ  
からの躍進が大きい  
に楽しみな元気企  
業である。

古屋駅セントラルタワーズのほか、近年では東京スカイツリーやあべのハルカス、東京オリンピックのメイン会場となる新国立競技場などと数え上げればキリがない」とのこと。今後もオリンピック施設の整備や都市再開発事業、ビルの



主力製品の「溶接H形鋼」。同社では特注品として顧客の要望に合わせた厚みや形状に加工している。



社長のひとこと

QRコード対応のケータイ  
電話でご覧いただけます。